

現地メディア向けプレスツアーを行いました

2025年9月30日

9月9日、現地メディア向けプレスツアーを実施し、新聞・オンラインニュース・テレビ・ラジオを運営するタイムズ社のジャーナリストとカメラマンが参加しました。このプレスツアーは、日本の開発協力が現地メディアで取り上げられる機会を増やすとともに、マラウイ国の政府関係者、知識層およびマラウイ国民への情報発信を強化するためのものです。プレス一行は、マラウイ湖西岸のンカタベイ港を訪れ、令和6年度補正予算（TICAD パッケージ）を通じた「ンカタベイ県における湖畔の国境警備とマラウイへの定住の強化プロジェクト」の視察を行いました。

「湖上カリキュラム作成研修と警備艇を提供し、マラウイ湖国境地帯警備を強化する！」

【プロジェクト概要】

マラウイ湖は、国土面積の3分の1を占める広大な湖です。このマラウイ湖が不法入国の入り口となるだけでなく、第三国への抜け道として不法に利用されるケースがあります。不法入国は、密輸や人身売買など深刻な犯罪に繋がり、地域住民の安全な生活を脅かす事態に発展する場合があります。



供与した警備艇



警備艇を操縦する職員

このプロジェクトは、国際移住機関（IOM）を実施機関とし、マラウイ国境管理局及び移民・市民サービス局に対する不法移民取締のための能力強化を行い、正規ルートを使用した隣国からの安全な移動を円滑に行えるようにすること、また地域住民が安全に生活できるようにすることを目指しています。

【プレスツアーの様子】

ツアーに参加したプレスは、このプロジェクトで供与された国境警備艇に乗船し、これまでマラウイの警備艇には搭載されていなかった障害物探知機やトーチライトなどの設備を見学し、湖上及び夜間警備において更なる安全が確保されたことを確認しました。

また、海事法、捜索救助、ボートの操縦及びメンテナンスなどを扱うカリキュラム作成の研修の様子を視察しました。研修に参加していた移民・市民サービス局長は、このカリキュラム策定は、不法移民流入抑制への大きな一歩となり、カリキュラムの実施自体も同局の活性化に繋がると評価しました。また、地域の首長は、周辺地域住民が金銭を受け取り不法移民を支援しないようにするための教育等、移民・市民サービス局と協力して取り組むことを約束しました。



カリキュラム作成研修



地域首長

【報道】

プレスツアー後、新聞・オンラインニュース・テレビ・ラジオでその様子が報道されました。タイムズ・テレビ及びラジオでは、9月27日及び28日の午前・午後両方のニュース番組で、このプロジェクトについて現地語と英語で計4回放送されました。

関連リンク(外部サイト)

9月24日 The Daily Times 紙のウェブ記事

(英語) New marine curriculum to combat lake border crimes

(邦訳) 湖畔の国境地帯における犯罪対策のための新しい湖上カリキュラム

<https://www.facebook.com/share/p/1CqBdogjDq/>

9月27日・28日 TIMES TV ニュース

(英語) Japan Aids Malawi's Fight Against Human Trafficking

(邦訳) 日本、マラウイの人身売買との闘いを支援

<https://www.facebook.com/share/v/164TAYHiwm/>